

*acum pe ecrane !*

# ki<sup>o</sup>ino

Un Film Amuzant

Filmul Gel Mai Scurt Al Secolului

Regizor:  
MASAHIKO SATO

Operator:  
PIERRE STOEBER

Un film de 16mm in color.



Sony Music Entertainment

佐藤雅彦 初 監督作品 キノ a Masahiko Sato Filmlet 50min

kino — a masahiko sato filmlet —

キノは6つの短編から構成される映画集です。

1. オセロ
2. ホテル・ドミニクの謎
3. 反抗期
4. おばあさんの天気予報
5. ポイント
6. 大人の領域、子供の領域



僕の表現には、いつも実験が伴っています。佐藤雅彦  
kinoの映像の世界は、ある日、くっきりと僕の内に現われました。それは、まるでかつて行ったことのある場所のようでもありました。その場所を求めて、僕は世界を転々となりました。そして結局思いもよらなかった全く初めての国・ルーマニアにたどりついたのです。しかし僕は決して“その国”を撮ろうとしたわけではありません。僕の内に現われたkinoという世界はその国の空気によって、植物によって、習慣によって、そして人々によってフィルムに定着させることができると感じ、その国で撮らせてもらったというのが実感であります。そして僕がそれによって表現したかったのは、決してストーリーではありません。強いメッセージ性のあるテーマでもありません。僕が一番、みんなに見てもらいたかったのは、あの日、僕の内にくっきりと現われたkinoの持つ穏やかで幸せでそれでいてとても不思議な映像のトーンなのです。そして、そのトーンこそが、実験性に富んだ今回の映像手法を単なる実験に終わらせない力を持っているのです。

「kino」とは、なんと【映画】のこと。

スチール写真のスチール【still】とは、「動かない」という意味の言葉です。動かない写真に対して、映画は「動く写真」です。ギリシャ語で「動く」という言葉は【kinein】といい、そこから映画はkinema→cinemaと呼ばれるようになりました。『kino』というのも同じ語源で、ドイツ語やポーランド語では“映画館”や“映画”のことをいい、実際、東欧のどこの町でも、ひとつやふたつkinoと書かれた看板のある建物を見つけることができます。『映画』という名前の映画とはあまりにもあたり前すぎるかもしれませんが、『キノ』という語感のかわいらしさと、納得のいく語源のあり方に僕はすっかり参ってしまったのです。

佐藤雅彦 / 監督・脚本

「スコーン」「ボリンキー」「バザールでござーる」をはじめ、新しい考え方で数々のヒットCMを世に送りだす。1996年、突然コンピュータゲームの開発をはじめ、1年半後の1997年にはプレイステーション用ゲームソフト「I.Q.」を発表。国内、海外を合わせて約130万枚の大ヒットとなる。その後も、映像、執筆、コンピュータゲームの開発、教育など、活動の枠を限定せず、生まれ出るイメージを具体化する作業を日々続けている。今、表現者として最も注目されている人物。1954年、静岡県生まれ。東京大学教育学部卒。

主な受賞歴 — 1989:朝日広告賞最高賞 1990:ADC最高賞  
1991:クリエイター・オブ・ザ・イヤー/TCC最高新人賞  
1993:ACCグランプリ 1998:文化庁メディア芸術祭優秀賞 (I.Q.)

主な作品 — 「佐藤雅彦 全仕事」マドラ出版 「超・短編集クリック」講談社  
「カローラIIにのって」東芝EMI  
「I.Q.インテリジェントキューブ」ソニー・コンピュータエンタテインメント

Pierre STOEBER (ピエール・ストゥベール) / 撮影監督

1958年。フランス、ブルターニュ生まれ。1983年、撮影監督育成としてはもっとも有名なパリの映画学校、ルイ・リュミエールを卒業。アシスタント時代はほとんどなく、早々にドキュメンタリー分野で活躍しはじめ、同時に多数の短編、中編劇映画で撮影監督として経験を積んでいく。1993年、50分作品「VERSAILLES RIVE GAUCHE (ベルサイユ左岸)」は、カンヌ、クレールモンなどの数々のフェスティバル、そしてセザールでも受賞し、劇場公開では中編ながら20万人強の観客を動員。初めてかかわった長編「DIEU SEUL ME VOIT (神様だけが僕を見る)」は、今年の6月に公開され、すでに40万人の観客を動員している。彼は映画の他に演劇の舞台照明の監督も定期的にやっている。

以下、撮影監督としてのフィルムグラフィー (主な作品) \*ドキュメンタリーは除く。  
1993:「VERSAILLES RIVE GAUCHE (ベルサイユ左岸)」監督: Bruno PODALYDES 50分〜フェスティバルにて各賞受賞 (カンヌ、クレールモンフェラン、シャムルース他)。セザール短編賞受賞。劇場公開。  
1994:「VOILA (ほら!)」監督: Bruno PODALYDES 35分〜ベネチア映画祭で話題を呼ぶ。劇場公開。  
1994:「DIMANCHE OU LES FANTOMES (日曜日もしくは幽霊たち)」監督: L. ACHARD 30分〜フェスティバルにて各賞受賞 (カンヌ、クレールモンフェラン、バンタン、ダンケルク他)。  
1996:「DES MAJORETTES DANS L'ESPACE (空間のバンガール)」監督: D. FOURIER 6分〜フランス国内、及び海外のフェスティバルで数々の賞を受賞。1998年のセザール短編賞受賞。  
1997:「DIEU SEUL ME VOIT (神様だけが僕を見る)」監督: Bruno PODALYDES 120分〜1998年劇場公開。今現在40万人の観客動員。  
1998:「LES AMANTS CRIMINELS (犯罪者の恋人たち)」監督: F. OZON 100分〜現在編集中。来春劇場公開予定。

CAST

1. Othello  
Gentleman: Ion Lupu, Mihai Niculescu, Nicolae Urs, Adrian Damian
2. The mystery of Hotel Dominik  
Client: Nicolae urs Bellboy: Razvan Roxin Room Service Man: Marian Simion
3. Little resistance  
Pupil: Calin Dron, Gabriel Moisescu, Ionut Tudoran, Matei Stancu, Andrei Radu  
Teacher: Liliana Pana
4. Weather forecast  
Ilinca: Ilinca Mintulescu Ilinca's Mother: Valeria Sitaru Old lady: Jana Gorea
5. Point
6. View of a Father, View of a Son  
Little boy: Petru Bogdan Father: Mihai Bisericanu

STAFF

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| Director                | Masahiko Sato     |
| Producer                | Reiko Kanda       |
| Story & Screenplay      | Masahiko Sato     |
|                         | Masumi Uchino     |
| Executive Producer      | Hiroshi Goto      |
|                         | Hideki Mochizuki  |
| Director of photography | Pierre Stoeber    |
| Production Designer     | Maria Miu         |
| 1st Assistant Director  | Emil Slotea       |
| 2nd Assistant Director  | Radu Dragomir     |
| Art Director            | Ion Miu           |
| Wordrobe Master         | Lena Cerepenikova |
| Make-up/Hair dresser    | Dana Roseanu      |
| Line Producer           | Masa Sawada       |
|                         | Masatsugu Tsuyama |

ソニー・ミュージックエンタテインメント提供 1998年/カラオケ/50min/ドルビーサラウンド

祝!! だんご3兄弟♪大々ヒット記念レイトショウ  
4月24日(土)→5月6日(木) PM8:40~  
パラダイスシネマ 心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F ☎06-6282-1460  
★前売鑑賞券¥1000 発売中!! (当日¥1200)